

CASBEETM すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい(戸建) (2007年版) ■使用評価ソフト: \SBEE-H(DH)_2007(v2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	S様邸		仕様等の確定状況	建物の仕様	一部確定
竣工年月	2011年12月	予定		持ち込み家電等	一部確定
建設地	広島県広島市佐伯区			外構の仕様	一部確定
用途地域	第1種中高層住居専用地域	確定	〈備考〉 建物完成前のCASBEE評価とします。		
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	木造・軸組構法	確定			
階数	地上2F				
敷地面積	170 m ²	確定	評価の実施日	2011年7月4日	
建築面積	71 m ²	確定	作成者	名藤 健治	
延床面積	122 m ²	確定	確認日	2011年7月4日	
世帯人数	4人	確定	確認者	S様	



2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)

環境品質 G

環境負荷 L

BEE=1.0

6.6

B+

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

建設 修繕・更新・解体 居住

参照値 100%

評価対象 38%

(kg-CO₂/年m²)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 4.0

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 4.5

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 3.4

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 4.5

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 4.2

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 4.6

3 設計上の配慮事項

総合

●次世代省エネルギー基準に該当する断熱性能 ●構造体はFIPC認証の持続可能な森林から出た木材を使用。土台、柱ともに中国産地の森林から取れた検材を過半に使用、その他木材も国産材を多く使用 ●ハップ設計を取り入れて夏季の日射の抑制や、夏季の最多風向なども考慮し設計した ●壁体内に空気を循環させるエアプレス工法を採用。冬季の暖房はヒートポンプ式の全館暖房方式を採用。 ●採用した建材、内装材はなるべく広島県産もしくは広島県内の企業のものも多く採用した。

その他

●高気密・高断熱・省エネルギーな住宅工法エアプレスに太陽光発電を合わせた自立循環型の環境配慮住宅です。内装建材も広島県で作られている事業所の建材を多く採用しました。壁紙は江田島市能美町で作られている伝統の織物である紙糸を使用し、タクロスを採用しております。建築場所に近い車

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

●次世代省エネルギー基準採用(設計性能評価・省エネルギー基準等級4の取得)による冷暖房負荷の軽減 ●自然素材を多く採用し室内の空気環境に配慮 ●底の設置、深い軒の採用で夏季の日射侵入率を抑制 ●ヒートポンプ式の全館暖房システムを採用

●ヒートポンプ式全館暖房システム採用 ●各居室にトップランナー基準対応エアコン設置予定 ●給湯設備にはエコキュートを採用 ●断熱外皮内側に断熱タイプの浴槽採用 ●太陽光発電システム3.68kwを搭載。年間発電電力量予測4.650kw。エコキュートと連動して省エネナビ機能付きを採用 ●節水型トイレを採用

Q2 長く使い続ける

●構造躯体は常に新鮮な空気が循環するエアプレス工法を採用する事で腐朽菌、湿気の発生を抑える工夫をしております

●地域産材の活用 ●広島県で製造される紙布クロスを採用 ●プレカットで廃材の抑制

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

●地域産材を使用 ●緑化面積を多くした外構計画

●敷地内の舗装面積を少なくし、地表温度を抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)